



【ベルケイド療法について】



様

😊 **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
			デカドロン錠	抗がん剤です(ステロイド)	朝食後内服																			
ベルケイド注	抗がん剤です	数分																						

😊 治療による副作用

注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目			
自覚症状	発熱																									
	悪寒、発熱があるときはお知らせください。																									
	食欲不振・吐き気																									
	食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																									
	倦怠感																									
	疲れ、脱力感などを感じたときは無理をせず、体を休めてください。																									
便秘																										
水分を多めに摂りましょう。続く場合はお薬で調節した方が良いので、お知らせ下さい。																										
下痢																										
便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水の様な便が出るときはお知らせ下さい。																										
手足のしびれ																										
手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																										
検査値	白血球減少																									
	感染しやすくなりますので、手洗いうがい心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																									
	血小板減少																									
出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																										

以下の副作用は、起こりやすい時期はわかっていますが、早めの対応が必要な副作用です。気づいたことがあればお知らせください。

- 咳・息切れ・息苦しさ
 - 心臓・血管への影響(高血圧、胸の圧迫感、足のむくみ)
 - 帯状疱疹(皮膚のチクチクするような痛みから始まる発疹・水ぶくれ)
- その他の副作用・・・ 発疹・皮疹、貧血、不眠 など



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。